



# 見沼のほとり

第 7 号  
令和6年9月27日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

## 笑顔でプレーを

校長 金子 慎一郎

明日から新人戦が始まりますが、私がソフトボールの顧問をしていた時に、悔しい思いをしたことがあります。それは、私も生徒も一生懸命練習して夏休み明けの練習試合では負けなしで新人戦を迎えました。今振り返ると対戦相手になった学校には多分負けなだろうと内心油断をしていました。しかし大会当日いきなり自分のチームがエラーをしてしまい、その後は全員が浮足立ってしまい大差で1回戦負けをしてしまいました。原因は何だったのか、後から考えても「どうしてエラーをしてしまったのだろう」、「どうしてバントが決まらなかったのだろう」と私の中では答えは出ませんでした。生徒からは「緊張して悪送球をしてしまった」、「バントをよりきわどいところに決めようとした」、「相手はプレーを楽しんでいた」など、なるほどと思える答えが返ってきました。

この敗戦を機会に私は生徒に次のようなことを伝えるようにしました。それは「練習は試合のように。試合は練習のように」どんなに練習をしても気が抜けて時間ばかり費やした練習をしていたら試合ではよい結果を出すことはできないばかりか、緊張すると力を発揮できないことに繋がります。逆に常に試合や大会を意識した練習ができれば、短時間でも集中して内容の濃い練習ができると伝えました。また、基本がしっかりしていると緊張した時に基本に忠実にプレーをすればミスも少なくなるため、笑顔を絶やさずポイントを意識して練習ができるとよい結果につながると伝えました。どのチームも初戦は緊張すると思いますので、「練習のとおり」自分の全力を尽くし、最後まで諦めないで試合に取り組んでください。そして、チームスポーツでは、仲間との絆が何よりも大切です。お互いを信じ、支え合い、励まし合って最高のパフォーマンスを発揮してください。皆さんのチームワークを信じています。

また、先日24日～25日にかけて、2年生はJFAこころのプロジェクトで、様々な競技の現役選手やOB・OGの方々を「夢先生」として学校にお招きし、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを「夢の教室」で伝えていただきました。本校には、女子サッカーで選手から高校の先生になり指導者として活躍中の池田浩子様と女子バレーボールVリーグで活躍され指導者になった下平夏奈様が来校して、夢先生とともに「夢」について考え、スポーツの素晴らしさや夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを学びました。将来について考えるきっかけとなればというコンセプトからこのプロジェクトが実施され、丁度2年生は未来くるワーク体験で「働く」ことに対して学んだところで、より自分の考えを深めることができたのではないのでしょうか。



さて、10月28日から12月中旬まで本校の体育館にエアコン設置のための工事が開始されます。完成後は冷暖房が完備され、よい環境で授業や行事が行えるようになります。合唱コンクールまでは一部利用は可能ですが、それ以降は使用ができなくなります。ご理解、ご協力をお願いいたします。

また、1号階段（体育館側）に昇降機が設置されました。運用は10月に入ってからとなりますが、ケガ等など階段を上り下りすることが不自由な生徒のために利用ができるようになりました。ケガ等で使用を希望する場合は、担任までご連絡をください。